



2025 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ヘ リ オ ス
代表者名 代表執行役社長 CEO 鍵本忠尚
(コード番号：4593 東証グロース)
問合せ先 執行役 CFO リチャード・キンケイド
(TEL：0 3 - 4590 - 8009)

株式会社ニコンとの業務・資本提携契約解除に関するお知らせ

当社は、株式会社ニコン（以下「ニコン」といいます。）との間で業務資本提携（以下「本提携」といいます。）の解消について合意し、本日開催の当社執行役会において、2017 年 2 月 22 日付の業務・資本提携契約（以下「本提携契約」といいます。）を解除することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業務・資本提携契約解除の理由と内容

当社とニコンは、2017 年 2 月 22 日に「[株式会社ニコンとの業務・資本提携契約締結に関するお知らせ](#)」にて当社発表のとおり本提携契約を締結し、再生医療の実用化、産業の拡大に向けて事業を推進してまいりました。この度、事業環境の変化や両社が有する技術・事業戦略の方向性を再検討した結果、今後は両社が各々独立した立場でそれぞれの強みを活かしながら事業を推進するとの方針を確認し、両社合意のもと、本提携を解消することとなりました。

当社グループは、2025 年より新たに製造受託事業者（CDMO）としての事業展開を目指す方針を決定し、2025 年 7 月 16 日に「[経済産業省 令和 6 年度補正予算「再生・細胞医療・遺伝子治療製造設備投資支援事業費補助金」採択決定のお知らせ](#)」にて発表の通り、グローバル市場に対応可能な再生・細胞医療に関する CDMO 事業のインフラ構築の準備を進めております。

なお、ニコンは、本日現在、当社の普通株式を 1,537,400 株（発行済株式総数の 1.33%）保有しておりますが、同株式については、市場で売却する予定であるとのことです。

2. 相手先の概要

(1)	名 称	株式会社ニコン
(2)	所 在 地	東京都品川区西大井 1-5-20
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 兼 会長執行役員 馬立稔和
(4)	事 業 内 容	光学機械器具の製造、ならびに販売
(5)	資 本 金	65,476 百万円（2025 年 3 月末現在）
(6)	設 立 年 月	1917 年（大正 6 年）7 月 25 日
(7)	発 行 済 株 式 数	333,585,686 株（2025 年 3 月期）
(8)	決 算 期	3 月
(9)	従 業 員 数	20,069 名（連結、2025 年 3 月末現在）

(10)	大株主及び持株比率	日本マスタートラスト信託銀行（19.15%）、SG/INV（9.40%）他（2025年3月末現在）		
(11)	当事会社間の関係			
	資 本 関 係	同社は当社普通株式1,537,400株（発行済株式総数の1.33%）を保有しております。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。		
(12)	最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
	純 資 産	618,351 百万円	685,091 百万円	639,223 百万円
	総 資 産	1,050,267 百万円	1,147,110 百万円	1,110,514 百万円
	売 上 収 益	628,105 百万円	717,245 百万円	715,285 百万円
	営 業 利 益	54,908 百万円	39,776 百万円	2,422 百万円
	当 期 利 益	44,944 百万円	32,570 百万円	6,123 百万円
	1株当たり当期利益	125.46 円	94.03 円	17.86 円

3. 本提携解消に関する日程

決議日：2025年10月14日

解消日：2025年10月14日

4. 今後の見通し

本件による当社2025年12月期連結業績への影響はありません。開示すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

■株式会社ヘリオスについて

再生医療は、世界中の難治性疾患の患者さんにとって新たな治療法として期待されています。この分野では、製品開発・実用化への取り組みが広がり、将来的には大きな市場となることが見込まれています。ヘリオスは、iPS細胞（人工多能性幹細胞）などを用いた再生医薬品開発のフロントランナーとして、実用化の可能性のあるパイプラインを複数保有するバイオテクノロジー企業です。2011年に設立、2015年に株式上場（東証グロース:4593）し、再生医薬品の実用化を目指して研究開発を進めています。体性幹細胞再生医薬品分野では、健康な成人ドナー骨髄由来の体性幹細胞から成る独自の細胞製品である HLCM051 を使用した脳梗塞急性期や急性呼吸窮迫症候群（ARDS）及び外傷の治療を実施しています。HLCM051 は、強力な抗炎症作用と免疫調節作用を示すことが示されており、さまざまな病態への応用が可能です。後期臨床試験において数百人の患者さんで試験され、3D培養法で一貫して製造されており、複数の適応症において数百人の患者さんで安全性と有効性の両方が実証されています。ヘリオスは、脳梗塞急性期、ARDS、外傷に対し、HLCM051 をグローバルに推進してまいります。iPSC再生医薬品分野では、免疫拒絶のリスクを低減する次世代 iPS 細胞であるユニバーサルドナーセル（UDC: Universal Donor Cell）を作製し、さらには、遺伝子編集技術により固形がんに対する殺傷能力を強化した次世代 NK 細胞（eNK®細胞）の開発を進めています。eNK®細胞は、

動物モデルにおいて強固な抗腫瘍効果を実証しており、大量生産が可能な 3D バイオリ
アクターでの製造プロセスを実現しています。これらにより、がん免疫領域をはじめ、眼
科領域、肝臓領域などで新規治療薬の開発に取り組んでいます。

<https://www.healios.co.jp>

以上